1. 人口・世帯数の構成から見る

≪85歳以上を支える人数≫

85歳以上／生産人口（15～64歳）

〈静 岡 市〉

社会保障費の負担

介護の負担

1995年

55．6人

2015年

14．3人

2035年

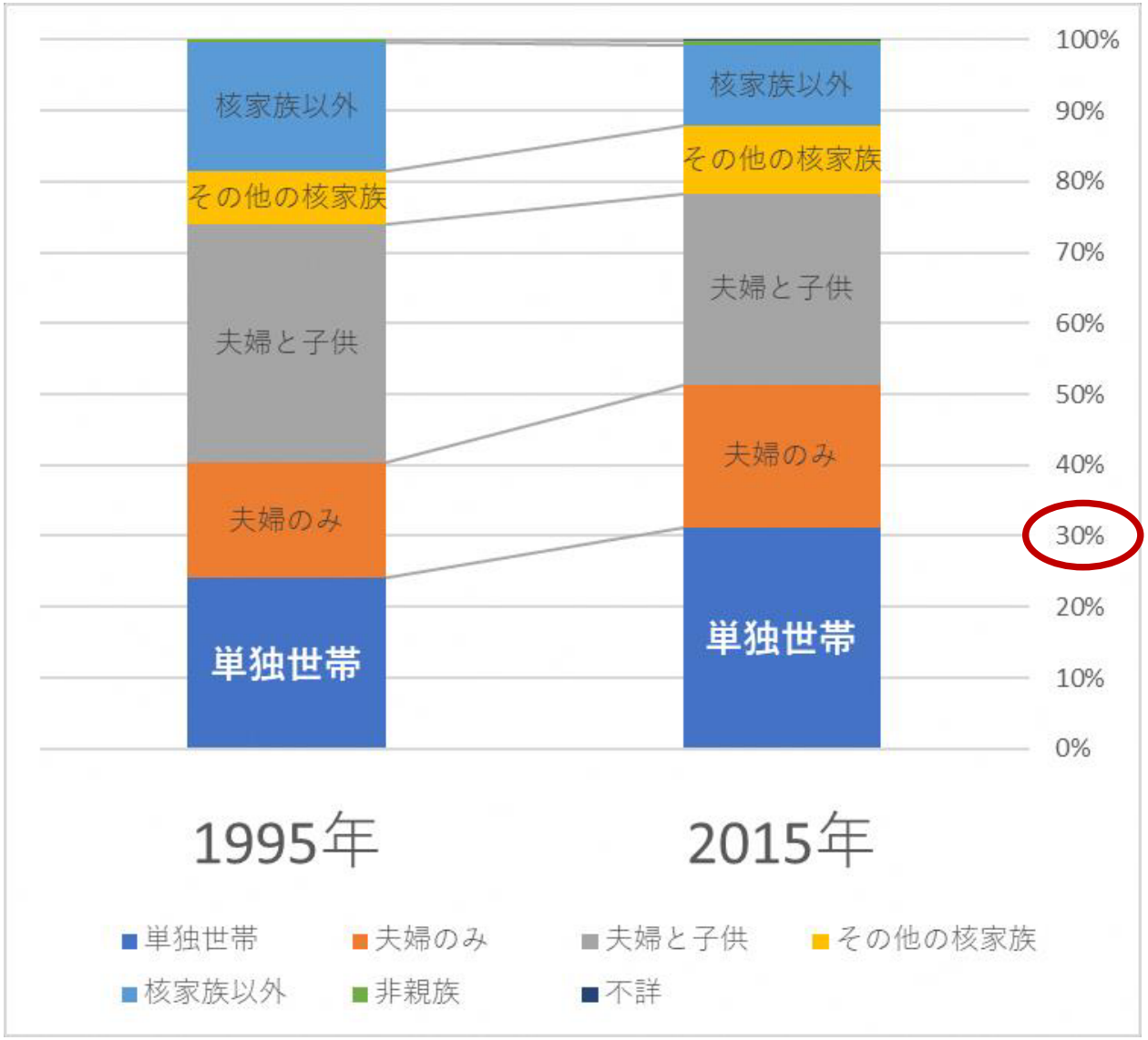
5．7人

現役世代の負担増大

1995年　国勢調査
2015年・2035年　国立社会保障人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30（2018）年推計）より

家族が小さくなった！

静岡市の家族類型別世帯数の割合



2015年には

単身世帯

全体の約30%に！

10世帯に1軒が

独居高齢者世帯！

1995年・2015年　国勢調査より

2. 人々の生活の変化から見る

①小売業・サービス業従事者の増加

医療・福祉に従事する人の数

10年で**1万人増**

2005　2015年　国勢調査より

②共働きの増加

静岡市では**49.2%**が共働き世帯

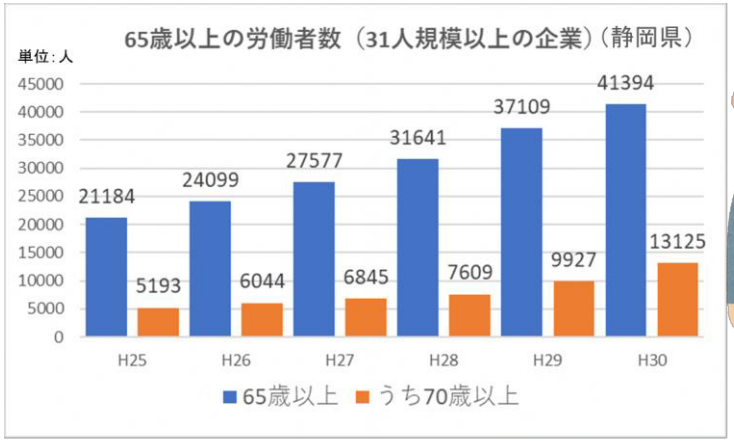
出典：平成27年国勢調査（就業状態等基本集計結果）～静岡県の概要（H29 5）
静岡県経営管理部情報統計局　統計調査課

③高齢者の就業

65歳以上の高齢者も

継続して働ける環境が広がる

平成30年「高齢者の雇用状況」集計結果から
厚生労働省静岡労働局発表（H30 11 19）



平成30年「高齢者の雇用状況」集計結果から
厚生労働省静岡労働局発表（H30 11 19）

3. 行政の動向から見る

・職員の減少
・業務量の増加
・多様なニーズ

→ 人が足りない

・税収の減少
・福祉の支出増
・インフラ維持費増

→ お金が足りない

行政に任せきりNG！

市民の視点から

- 高 齢 化
- 生産人口の減少

→ 現役世代の**負担増**

- 単独世帯の増加
- 家族が小さくなった
- 働き方の変化

→ 暮らしを支えるための**サービスが必要**

- 高齢者の就業

→ 地域活動の**担い手不足**

地域や社会の状況が変わった

↓

今までのやり方では

もう通用しない！

自分たちの力で
変えていかなければ！！

地域デザインカレッジは

それぞれの地域の人たちが

地域に求めらていることを

自ら考えるための講座です

≪カリキュラム≫

かぞえる

↓

くらべる

↓

たずねる・しらべる

↓

つたえる

目指すは・・・

皆がそれぞれに
幸せに暮らしていくために

地域が自ら考える

“持続可能な地域づくり”